



さよなら原発 関西アクション 3月8日(日)扇町公園



「さよなら原発・関西アクション」に参加しました。会場となった扇町公園には、全体で3500名の参加があったとのこと。CASAは自然エネルギー市民の会 (PARE) と共同で、会場内にブースを出し、また会場入口で「全原発の即時廃止とCO₂削減は可能」の冊子を約1100枚配布しました。

西梅田まで元気にパレードしました。



CASAとPAREのブース、まだ準備中？



パレード、日頃のストレス発散にも！



連続市民講座 第23期地球環境大学

地球温暖化、エネルギーの未来を考える

第1回「肌で感じる温暖化、科学の視点から見ると」

2015年5月18日(月)の第1回地球環境大学は、大阪管区気象台地球温暖化情報官の西村修一さんと、広島大学総合科学部・大学院総合科学研究科准教授の佐藤高晴さんの講演でした。



西村さんは、IPCC第5次評価報告書、気象庁異常気象レポート2014に基づいて、地球温暖化のしくみと現在の状況について、①地球温暖化は疑う余地なく、最近30年の各10年間は1850年以後どの10年よりも高温。②海洋の深層水温が上昇。③氷河と北極域海水の減少と海面水位上昇など観測事実を報告されました。とりわけ大阪地域は温暖化の影響が強く現れているとのこと。

佐藤さんからは、地球史の中での温室効果ガスの役割と氷期・間氷期の周期性、東広島市でのバイオマスの取組みについて紹介がありました。地球の公転や大陸移動など自然現象で温暖化と寒冷化が繰り返し、約10万年周期でCO₂濃度が増減していること、そこへ人為起源のCO₂が温暖化を加速し、さらにCO₂を増やすフィードバックで温暖化が深刻化しているという話でした。



地球温暖化の実態を専門的見地から科学的に解説していただき、子孫へ伝えるべき地球環境を微力でもなんとか守らなければと強く感じた講演でした。

古畑 等 (CASA ボランティア)